

第 1 4 回新市建設計画策定小委員会（議事概要）

日 時 平成 15 年 5 月 24 日（土）PM1：00～PM2：40

場 所 アグリセンター大宮

出席者数 20 人

傍聴者数 2 人

主な議題

- （1）協議第 1 号 新市建設計画（案）について
- （2）次回の議題について
- （3）次回の小委員会の日程等

議事経緯

委員長あいさつ

会議の成立確認

委員の変更

大宮町及び丹後町、弥栄町町会議員選挙に伴う委員の変更

大宮町 石河良一郎委員 ⇨ 荒田寛康委員

丹後町 瀬川善磨委員 ⇨ 小森 潔委員

弥栄町 木本 勇委員 ⇨ 久江晶夫委員

議題

- （1）協議第 1 号 新市建設計画（案）について・・・**継続協議**

委員長 本日は、建設計画も含め最後に近い姿で提案する。今般は、これをもとに住民に説明をし、仕上げていきたい。協議を始める前に、一つの案の追加を提案したい。合併協議の発端でもあり、6 町の最大の課題である少子高齢化への対応に関し、住民・福祉・教育小委員会では委員から少子化対策に重点投資すべきといった意見が出るなど、その他多くの委員の方々から少子化に対する意見をいただき、6 町長で政治的に協議した結果、子どもたちが力強く成長してくれるよう願いを込め、乳幼児及び就学前医療費助成制度を拡大し、高校卒業までの医療費助成を行う新規事業を新市計画に盛り込むことを提案する。

委 員 小学生の歯科医療費についてはどうなるのか。

事務局 現在、福祉医療で就学前及び小学生児童の歯科医療費の助成を行っており、それも含めた制度の拡大ということである。

委員長 反対もないようなので、新市の目玉事業として新市計画に盛り込む。

委 員 新市建設計画そのものはよくできているが、各町の財政状況が合併を決意させた

- と考へ、誰が見てもわかりやすい財政計画を作成していただきたい。
- 事務局 いろいろな出し方があるが、新市建設計画の中の財政計画の位置付けは、建設計画の中味を反映させ財政の将来を検証するものでありこれでよいと考へるが、住民説明用では工夫が必要とは考へる。
- 委員 計画は、地域の将来像がイメージできる内容となっていると考へる。
- 委員 計画には、町から市になって良かったと思えるもの、何か一味違うものがほしい。
- 委員 新市の都市構造の中で、地域核の考へ方を2つに分け、ひとつは支所を中心としたもの、ふたつ目は地域にそれぞれセンター的なものを置き、そこが区長や婦人会、老人会の活動の場、市役所からの配付物を配るところというようにならないか。
- 委員長 町により、配付物の配付ルートなどに相違があり、よりよい形を検討している。
- 委員 公共的施設の統合整備の中で、「新庁舎」に対する記述がなく、当分の間、分庁舎方式というのはわかるが将来的にどうなるか見えてこない。
- 町長 新庁舎については、新市の市長や議会で検討してもらうため、「当分の間」としている。
- 委員 合併特例債の活用などにおいて、「新庁舎」というものの記述が必要ではないか。
- 事務局 合併特例債の要件上、案のとおりで問題はないと考へる。
- 委員長 一局集中が合理的なことはわかっているが、地域が寂れないよう、今の段階では分散型で進めている。
- 事務局 委員の方々から、合併特例法にある地域審議会設置の意見を多くいただき検討した結果、それをさらに充実した形で、その地域の振興に係る行政施策を包括的に協議・提言する組織として「地域振興協議会」の設置を条例化することを計画に盛り込んでいる。
- 委員 分庁舎方式とし、峰山・大宮・網野の庁舎を活用するということだが、その機能がはっきりしていない。また福祉事務所はどうなるのか。
- 事務局 福祉事務所について、昨年新市の事務所を確認していただいた時、峰山町に置くという説明をした。しかしながら、住民の方には、各支所ですべての手続きができるようにと考へている。
- 委員長 市民サービスの窓口、地域の振興、防災、地域振興協議会の運営、課税徴収業務、保健福祉等対人サービスの提供業務、管内施設の維持管理、農林・土木等々、市民の意見を聞き集約する業務、市民の活動支援業務を支所の業務とすることで、最終調整中である。
- 委員 日本経済新聞に掲載の早朝・深夜にやってほしい行政サービスのランキングで、病院や行政の手続きというのがあった。丹後でも働く人のために、窓口サービスの早朝・延長など、使う人の立場にたったサービスの実施を財政面も考へて実施していただきたい。
- 事務局 対応として、医療では民間病院・診療所の協力を得て、在宅当番医制、病院群輪番制の整備、保育所の早朝・夜間の延長保育の充実を計画に入れている。
- 委員 公のすることと民間のすることをはっきり分けていただきたい。例えば、公営住宅の建替えはするべきじゃなく、民間に委託し補助金を出すという形をとるべ

き。また KTR の利用が計画に記載されているが、本来 KTR 側に利用促進を考えてもらうべき。

委員 人口3万人という特例要件の延長の話があるが、合併協定項目の変更はあり得るか。

委員長 3月1日より4月1日の方があらゆる面で効率的であり、延長が決まれば協議会で諮りたい。

(2) 次回の議題について

新市建設計画について

(3) 次回の小委員会の日程等

第15回新市建設計画策定小委員会

日程 平成15年6月17日(火) 午後2時00分より

場所 丹後町役場

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局
(速報のため、事後修正の可能性あり)